

SHO-BOND

トンネル裏込め注入—より確実な施工管理のために **裏込め注入材充てん確認センサ**

電気抵抗値式ポイントセンサ／静電容量式レベルセンサ

トンネル裏込め注入工事では、注入材が空洞全体に充てんされているかどうかの確認が問題となっていました。この問題を解決するため開発されたのが、2種類の確認センサです。

注入材の充てん作業前にセンサを設置することで、充てんやその状況が確認できます。これらの各センサ(特許登録済)は、より精度の高い施工をご提供します。

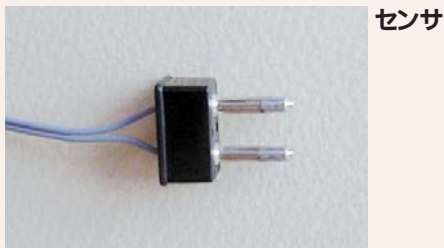


■補修工学®— 構造物の総合メンテナンス企業

ショーボンド建設株式会社

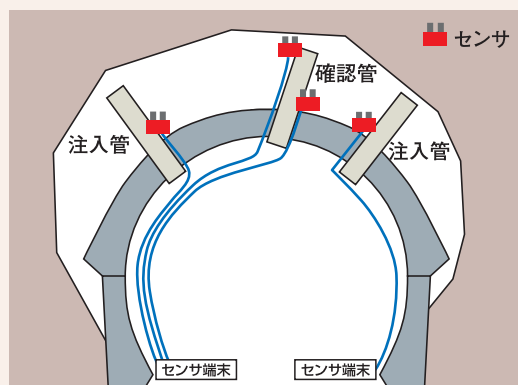
電気抵抗値式ポイントセンサ

裏込め材注入孔を利用して、空洞最上部に設置します。注入材がセンサに到達すると、検知器のランプが点灯します。

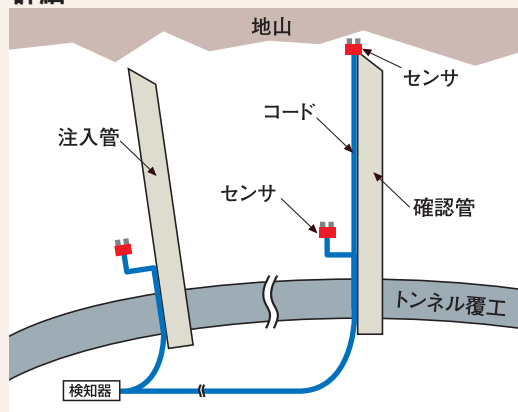


検知器システム

センサ設置例

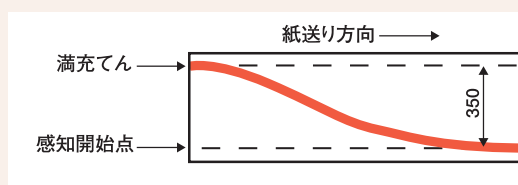
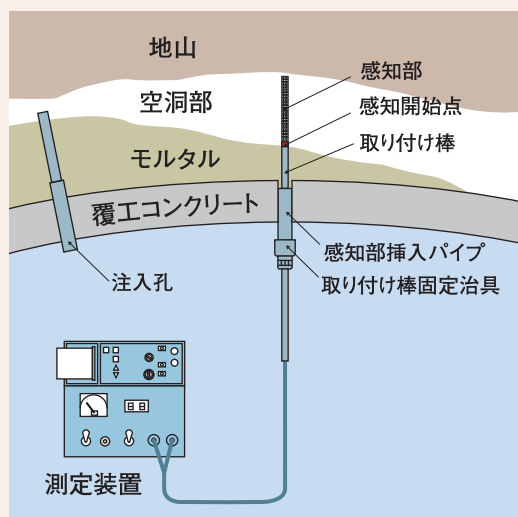


詳細



静電容量式レベルセンサ

空洞内に設置された筒状のセンサが、注入材の到達状況に合わせてリアルタイムに検知器のランプが点灯すると同時に、記録紙に連続的に記録します。充てんの進捗状況がよくわかります。



ショーボンド建設株式会社

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町7-8 TEL.03(6861)8101(代表)

<http://www.sho-bond.co.jp>

★品質改良のため、製品規格の一部を変更する場合がありますので、ご了承ください。

●取扱い営業所

E-3

2010年1月版